

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ちゅーりっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の立地条件が良く、各施設へのアクセスが容易	各市町村の施設などにいき、児童の見聞を広げるだけでなく、得た学びを自分の生活に生かす力を養うことを目的としている。	他の児童や保護者に向けて、体験内容を発表する時間を設ける 「伝える」ことを通じて、自分の理解を深めるだけでなく、他者との共感的な学びも生まれる。
2	・本人保護者のニーズをしっかりと個別支援計画反映させ、子供の成長にあった計画を立てている。 ・保護者との連携を取るようになっている。	・日頃から保護者との対話を大切にし、子どもの困り感などを共有し合える関係づくりを心がけている。連絡帳やLINE（メールアプリ）を活用することで、情報の漏れがないよう努めている。	保護者との対話の時間を定期的に設け、子どもの成長や困りごと、課題に対するフィードバックを行う。 保護者と施設の職員が直接交流できるイベントや懇親会を定期的に開催することで、信頼関係を深め、今後の支援に対する理解と協力を促進します。
3	・毎日プログラムが変わり、児童がワクワクして楽しめるようなプログラム作成を心がけている。	・毎月日課表を作成している。曜日と担当がなるべく被らないようにし、すべての児童に関われるようになっている。	学びと遊びのバランスの最適化 各活動の間に、リフレッシュや気分転換となる遊びやアクティビティを取り入れることで、児童が集中しやすく、ストレスが軽減を図る。 「学び」と「遊び」の時間を交互に設けるなどして、児童が飽きずに活動に取り組めるよう配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での避難訓練を実施しているが、災害時の避難場所の確保がむづかしい。	施設自体の構造・立地に課題がある → 建物の耐震性、立地（がけなど）により、災害時に一時的な安全確保が難しい。	定期的に避難訓練を実施し、消防署と連携が必要。
2	ICT環境の整備が十分でないため、業務の効率化が進まず、事務処理に充てる時間を確保することが難しい。	IT導入に対する優先度が低かったり、予算不足により必要な機器やソフトの購入ができていない。 パソコンやネットワーク、業務支援システム（例：保育支援ソフト）が導入されておらず、手書きや紙ベースの業務が中心となっている。	低コスト・段階的なIT導入の検討。 無料または安価な業務支援アプリを活用して、まずは情報共有の効率化からスタート。
3	現在、専門職との連携は十分ではないため、児童支援に関する研修を今後さらに積み重ねていく必要がある。	スクールカウンセラー、児童相談所、福祉機関などとの関係性が希薄で、情報共有や相談のハードルが高い。	地元の児童相談所や福祉機関へ見学・訪問を行い、業務内容や連携方法の理解を深める。 専門職が行う研修や地域主催の合同研修・ケース会議などに積極的に参加。

利用児童数	5	回収数	5
-------	---	-----	---

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4			1	広々とした印象があります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	1		退職された方もいるのでわからない部分 もあります。	国が定める人員配置基準に満たしている 職員数ではありますが、より手厚い支援 を行うために求人募集をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	3		1	色々な道具等の配置もすっきりとしていてこども にも分かり易いように感じた。バリアフリー化は わからない部分がある。情報伝達への配慮は適 切。	借家ともあり、限られた中でのバリアフリー化は進 めています。情報伝達は、メールや連絡帳、送迎の 際に行っており、すぐに伝えるよう努力していま す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1			整理整頓、掃除も行き届いていて子ども たちが活動しやすい環境だと感じてい る。	ありがとうございます。児童の生活支援 の一つとして、児童と一緒に行う時もち ります。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	4			1	客観的に子供を見て頂いて親とは違う目 線で子どもの特性を見抜いて伸ばして頂 いていると思う。	子どもの特性に合わせた個別支援計画を定期的に見 直し、必要に応じて柔軟に調整します。特に、発達 の段階に応じて支援方法を変えていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	5				支援内容は当たっている。	今後も保護者との連携をとり、児童の発 達に応じたプログラムが作れたらと思っ ています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	5				子どもの様子も見たらうで今後どういっ た支援が必要なのか分かり易く作成され ている。	保護者との連携をとり、児童の発達に応 じた計画書が作れたらと思っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1			子どもにあった具体的な支援が選択され ていて短期、長期的目標が分かり易く書 かれている。	引き続き継続していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			1	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ている。	引き続き継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	4			1	色々な活動を取り入れてもらい、本人に も良い経験になっている。	今後も活動内容が固定化されないよう に、周知していききたいと思っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	3	1		1	イベントを通して交流することはあるの かなと思う。	デイのイベントの開催や市町村のイベン トに参加し交流を図っている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	5				職員の方や文書により報告がある。	引き続き継続していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4		1		職員の方から説明があった。	引き続き継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。				5	行なわれているかわからない	いいなと思う講演会などの情報提供は流 すように努力しているが、研修の機会 はまだ設けていないです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	5				気付いたことを日々報告してくれる。	送迎等、メール、連絡帳を通して保護者との つながりを大切にして、子どもの状況を伝え つつ、情報共有を行う努力をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4		1		色々教えて頂いている。	面談を通して保護者と子どもの状況を伝えつ つ、情報共有を行う努力をしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				本人のちょっとした成長を教えていただ くことが多い。	日頃から保護者と連携し、子どもの状況を伝 えつつ、情報共有を行う努力をしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい 向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられ るなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			1	イベント活動を通じて保護者の方達にも 会う機会が増えてきた。	引き続き継続していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	4	1			適切に対応されている。	引き続き継続していきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1		連絡帳や直接会った際にいろいろと教えて頂いている。	日頃から保護者と連携し、子どもの状況を伝えつつ、情報共有を行う努力をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			行事等早めに情報をもらっている。	引き続き継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			留意されている。	引き続き継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	1	訓練についてはわからないが、感染症対応マニュアル等説明の文書もいただいている。	引き続き継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3		2	訓練があったことを報告してもらっている。	引き続き継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			安全について支援が行われている。	引き続き継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			都度、職員の方から報告がある。	送迎等、メール、連絡帳を通して保護者へ、子どもの事故の内容状況を説明し、情報共有を行う努力をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5			通い慣れているので安心感はあるかと思う。	より安心できる場を提供できるよう努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5			泣いて出て行ったりもあるが、通うことで本人の気持ちの切り替えができる事も多いと思う	子どもたちが毎日「たのしい！」と思えるようプログラム作りなど工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			子ども本人や親の状況も考えて支援して頂いている。	日頃から保護者と連携し、子どもの状況を伝えつつ、情報共有を行う努力を怠らず進んでいきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス　ちゅーりっぷ		2025　年　5　月　28　日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		法廷上は問題ないが、ゆとりある支援必要なので求人を出している。会社として状況に応じ判断すべきである。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	DIYや市販のもので対応。出来る範囲で行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		環境を整える工夫が必要である
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		環境を整える工夫が必要である
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	会議などで情報共有し、改善点など議題にあげている。	保護者の意見を踏まえた中で改善策が出来ているか検討する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	なるべく業務改善につなげようとしている。	面談など設けていないのが課題。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者の外部評価は行っていないが、職員会議などで仕事を直し、アドバイスをし合うことで、異なる視点からの意見が得られ、改善点を明確にしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			研修の場を提供されている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		共有する時間が限られている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎日違う日、曜日に活動プログラム担当を設けている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日、活動プログラムを読み合わせている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		申し送りをし、翌日に繋げるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一回の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	3		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ちゅーりっぷ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の立地条件が良く、各施設へのアクセスが容易	各市町村の施設などにいき、児童の見聞を広げるだけでなく、得た学びを自分の生活に生かす力を養うことを目的としている。	他の児童や保護者に向けて、体験内容を発表する時間を設ける 「伝える」ことを通じて、自分の理解を深めるだけでなく、他者との共感的な学びも生まれる。
2	・本人保護者のニーズをしっかりと個別支援計画反映させ、子供の成長にあった計画を立てている。 ・保護者との連携を取るようになっている。	・日頃から保護者との対話を大切にし、子どもの困り感などを共有し合える関係づくりを心がけている。連絡帳やLINE（メールアプリ）を活用することで、情報の漏れがないよう努めている。	保護者との対話の時間を定期的に設け、子どもの成長や困りごと、課題に対するフィードバックを行う。 保護者と施設の職員が直接交流できるイベントや懇親会を定期的に開催することで、信頼関係を深め、今後の支援に対する理解と協力を促進します。
3	・毎日プログラムが変わり、児童がワクワクして楽しめるようなプログラム作成を心がけている。	・毎月日課表を作成している。曜日と担当がなるべく被らないようにし、すべての児童に関われるようにしている。	学びと遊びのバランスの最適化 各活動の間に、リフレッシュや気分転換となる遊びやアクティビティを取り入れることで、児童が集中しやすく、ストレスが軽減を図る。 「学び」と「遊び」の時間を交互に設けるなどして、児童が飽きずに活動に取り組めるよう配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での避難訓練を実施しているが、災害時の避難場所の確保がむづかしい。	施設自体の構造・立地に課題がある → 建物の耐震性、立地（がけなど）により、災害時に一時的な安全確保が難しい。	定期的に避難訓練を実施し、消防署と連携が必要。
2	ICT環境の整備が十分でないため、業務の効率化が進まず、事務処理に充てる時間を確保することが難しい。	IT導入に対する優先度が低かったり、予算不足により必要な機器やソフトの購入ができていない。 パソコンやネットワーク、業務支援システム（例：保育支援ソフト）が導入されておらず、手書きや紙ベースの業務が中心となっている。	低コスト・段階的なIT導入の検討。 無料または安価な業務支援アプリを活用して、まずは情報共有の効率化からスタート。
3	現在、専門職との連携は十分ではないため、児童支援に関する研修を今後さらに積み重ねていく必要がある。	スクールカウンセラー、児童相談所、福祉機関などとの関係性が希薄で、情報共有や相談のハードルが高い。	地元の児童相談所や福祉機関へ見学・訪問を行い、業務内容や連携方法の理解を深める。 専門職が行う研修や地域主催の合同研修・ケース会議などに積極的に参加。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス　ちゅーりっぷ
------	-----------------

公表日　2025年5月　28　日

利用児童数　11　回収数　7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2		2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス チューリップ		2025年 5 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		法廷上は問題ないが、ゆとりある支援必要なので求人を出している。子どもの状態・特性によっては難しいこともある。会社として状況に合わせた対応が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	DIYや市販のもので対応。出来る範囲で行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		環境を整える工夫が必要である
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		環境を整える工夫が必要である
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	会議などで情報共有し、改善点など議題にあげている。	保護者の意見を踏まえた中で改善策が出来ているか検討する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	なるべく業務改善につなげようとしている。	面談など設けていないのが課題。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者の外部評価は行っていないが、職員会議などで仕事を見直し、アドバイスを出し合うことで、異なる視点からの意見が得られ、改善点を明確にしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			研修の場を提供されている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		共有する時間が限られている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			